

# 発達支援センター通信

◆野洲市発達支援センター TEL587-0033、FAX587-2004

広報「やす」:令和3年7月号掲載

## びょうどう ごうりてきはいりよ 「平等とは? 合理的配慮とは?」

いっぱんてき びょうどう き みな おな ことば おな はいりよ おも  
一般的に「平等」と聞くと、皆に同じ言葉がけや同じ配慮をすることだと思われがち  
です。しかし、はったつしょう ひと たい しえん ほんとう いみ びょうどう  
発達障がいの人に対する支援で本当の意味での平等とはどういうこと  
でしょうか。

たと しゃんちやう ちが こ かべ そと かんせん せ たか  
例えば、身長が違う子どもが壁の外からスポーツ観戦をしています。背が高い  
こ だい かんせん ひく こ だい かんせん  
子は台がなくても観戦することができますが、低い子は台がないと観戦することができ  
ません。そこで、ふたり おな たか だい ようい せ たか こ じゅうぶん たか  
二人に同じ高さの台を用意すると、背が高い子には十分すぎる高さ  
なり、ひく こ かべ あたま て ていど いっぱんてき びょうどう い  
低い子にはぎりぎり壁から頭が出る程度だとしています。一般的には平等だと言われ  
るかもしれませんが、おな びょうどう ふたり おな めせん かんせん  
同じことをするのが平等なのではなく、二人が同じ目線で観戦  
することができ はじ びょうどう い ばあい せ たか こ かお かべ たか  
初めて平等だと言えるのです。この場合、背が高い子の顔が壁の高さ  
より うえ せ ひく こ せ たか こ おな めせん たか だい  
上にあるのなら、背が低い子だけに背が高い子と同じ目線の高さになる台を  
ようい ひとりてきはいりよ こま ひと ひつよう しえん ひつよう  
用意すればいいのです。これが合理的配慮です。困っている人に必要な支援を必要  
ぶん だけ すること、こま かん すこ へ  
分だけすることで、困り感を少しでも減らすことができます。

あいて たちば いま こま  
相手の立場になり、「今、困っているだろうな。」「もしかして〇〇がしたかったのか  
な。」など、まずは きょうかん あいて きも うと たいせつ  
共感し、相手の気持ちを受け止めることが大切です。そうすることで、  
どうい はいりよ かんが  
う配慮をすればいいのかを 考 えることができます。

ちから はっき ばしょ にん ちが はったつしょう ひと ひと  
力が発揮できる場所は人それぞれ違います。発達障がいのある人もない人も、そ  
れぞれの ちが みと あ たす あ せいかつ  
違いを認め合い、助け合いながら生活していくことができるといいですね。